

第5学年 社会科学習指導案

平成30年1月30日
安来市立社日小学校

1 単元名 わたしたちの生活と環境

- 小単元 わたしたちの生活と森林
- 小単元 環境を守るわたしたち
- 小単元 自然災害を防ぐ

2 小単元のねらい（わたしたちの生活と森林）

○我が国の森林の現状や森林資源の働き、森林資源の育成や保護に従事している人々の工夫や努力について調べ、国土の保全などのための森林資源の働きが分かり、森林の保全の重要性について関心を深める。（社会的事象への関心・意欲・態度）

○森林の保全のためには国民一人一人の協力が必要なことに気づき、環境保全と自分自身とのかかわりについて考えたことを分かりやすく表現することができる。

（社会的な思考・判断・表現）

○地図や統計などの資料を活用し、森林資源の働きと国民生活とのかかわりについて、必要な情報を集めて読み取ったり、整理したりすることができる。

（観察・資料活用の技能）

○我が国の国土の土地利用全体に占める森林面積の割合や森林の分布の現状、国土の保全や水資源の涵養などの森林資源の働き、森林資源の育成や保護に従事している人々の工夫や努力について理解し、森林保全のためには国民一人一人の協力が必要なことを理解している。

（社会的事象についての知識・理解）

3 つけたい情報活用の力

○適切な事例や資料をあげる・資料を活用して説明する

児童は4年生で、情報を整理する力をつけるために、国語の説明文や資料の文章を読んでまとまりを考える学習をしている。また、情報を伝え合う力をつける学習として、クラスの話合いの中で司会者などの役割を意識しながら考えをまとめることをしている。5年生では、社会科で産業における社会的事象の意味について理解するために、写真や統計グラフ、地図帳などの資料を読み取る学習をしてきている。本時では、「木材の輸入をやめるべきか」に対する自分の考えに合った資料を選び、その資料を活用して相手にわかりやすく説明する学習をする。

4 単元の評価基準

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 観察・資料活用の技能	エ 社会的事象についての知識・理解
① 我が国の森林面積の割合や森林の分布現状、森林資源の育成や保護に従	① 我が国の森林面積の割合や森林の分布現状、森林資源の育成や保護に従	① 地図や資料などを活用して、森林保全について必要な情報を集めて読み	① 国土の保全や水資源の涵養などの森林の働きを理解している。

<p>事している人々の努力に関心を持ち、意欲的に調べている。</p> <p>② 森林の保全に関心を持ち、協力の大切さを考えようとしている。</p>	<p>事している人々の努力について、学習問題を設定し、学習計画を立てている。</p> <p>② 森林保全の重要性を国民生活と関連づけて思考・判断し、国民一人一人の協力が必要であることを表現している。</p>	<p>取ったり、整理したりしている。</p> <p>② 調べたことと自分の考えを関連付けて発表している。</p>	<p>② 森林資源の育成や保護に従事している人々の工夫や努力などを理解している。</p> <p>③ 森林の保全を進めるには、国民一人一人の協力が必要であることを理解している。</p>
---	---	--	---

5 単元の指導計画及び評価計画（全8時間 本時 8/8）

	時	主な学習活動	○担任の支援	評 価
			☆学校図書館との関わり	評価規準（評価方法）
一 つかむ	1 2	<p>○「日本は自然に恵まれた国といえるか」について話し合い、学習問題を設定し、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の森林面積が変化していないことを前提として、意見を書いたり、発表したりする。 ・日本の森林の現状について、資料などを通して調べる。 	<p>○「恵まれている」と思う立場と「恵まれていない」と思う立場を対立させながら、様々な視点をもてるようにする。</p> <p>☆自然豊かな風景の写真など視覚的な資料でイメージできるようにする。</p>	<p>（関）我が国の森林の現状を知り、関心をもっている。</p> <p>（思）学習問題を設定し、学習計画を立てることができる。（発表・ノート）</p>
二 調べる	3	<p>○森林の働きについて調べ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林の働きについて、生活経験の中から予想を考えてからグループで資料を使って調べ、発表する。 ・森林の種類は天然林と人工林の2種類あり、違いや割合の移り変わり、それぞれがどの働きをしているのかを考える。 ・漁民による植林について調べたグループが発表した際に、なぜ漁民が植林をするのかを考える。 	<p>○児童の必要に応じて収集や整理の支援をする。</p> <p>☆多様な図書資料、パンフレット等を用意する。</p> <p>☆資料整理のための情報カードを手にとることができるようにしておく。</p>	<p>（知）森林の働きを理解している。</p> <p>（技）森林の現状について資料を活用し、読み取っている。（発表・ノート）</p>


	4	<p>○日本では、どのようにして森林を守り育てているのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林を守り育てている林業の仕事の様子を調べる。 	<p>○資料の提示を工夫することで、問題意識を持たせたり、内容の理解を促したりする。</p> <p>☆林業の仕事について読み取り、理解できるような資料を用意しておく。</p>	<p>(知) 森林資源の育成や保護に従事している人々の工夫や努力などを理解している。</p> <p>(発表・ノート)</p>
	5 6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>これからの林業は、どのようにしていけばよいのだろう。森林を守るために自分たちができることは何だろう。</p> </div> <p>○日本の今の林業の様子を調べ、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の森林の蓄積量と自給率や林業就業者数について調べ、林業や森林の問題点を考える。 ・自分たちができることを考える前に現在行われている森林を守るための取り組みについて調べる。 	<p>○長いスパンで育てる林業の仕事や環境保全について考えられるようなグラフやデータの資料を提示する。</p> <p>☆森林の放置が環境問題になっている資料など、追究の視点がもてるような資料を用意しておく。</p> <p>☆一人一人が自分の計画にそって調べることができるように、図書資料や今までに使った資料などの用意や、児童の必要に応じて収集や整理の支援をする。</p>	<p>(思) 日本の林業の現状について話し合い、学習問題をつくったり、学習計画を立てたりすることができる。</p> <p>(発表・ノート)</p> <p>(技) 日本の林業の現状や森林を守るための取り組みについて、資料を活用して読み取っている。</p> <p>(発表・ノート)</p>
三 ま と め る	7 8 本 時	<p>○調べたことや今までの資料をもとに学習問題について話し合い活動を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「木材輸入をやめるべきか」について森林会議を開こう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で調べた資料をもとに、自分の考えをまとめる。 ・賛成派と反対派にわかれて、発表内容や発表に使う資料を準備する。 ・「木材輸入をやめるべきか」について話し合う。 ・これからの森林保全について自分の考えをまとめる。 	<p>○発表の準備の支援を児童の必要に応じて行う。</p> <p>○子どもの考えが深まるような、対話活動への準備や取り組み方を考えておく。</p> <p>☆自分の考えを説明するために適切な資料選びができるような資料コーナーを用意しておく。</p>	<p>(関) 話し合い活動に意欲をもって取り組もうとしている。</p> <p>(思) 友達の考えを比較・関連させながら聞き、自分の考えを深める。</p> <p>(技) 主張点を発表するときに適切な資料を選び、それを活用してわかりやすく考えを説明することができる。</p> <p>(行動観察・選んだ資料・発表・短冊・ノート)</p>

6 本時の学習

(1) 目標

「日本の木材輸入」のテーマについて、友達と対話したこと、気づいたことをもとに、森林保全について考えることができる。(思考・判断・表現)

(2) 展開

学習活動と予想される児童の反応	評価◎と教師の支援等○担任☆図書館
<p>1 話し合いのめあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><めあて> 「森林を守るために、木材の輸入をやめるべきか」について話し合い、自分にできることを考えよう。</p> </div> <p>2 調べたことをもとに話し合う。</p> <p>(1) 調べた視点ごとに代表児童が発表する。</p> <p>(2) 代表児童の意見に付加・修正をする。</p> <p>(3) 相手グループに質問や意見を言う。</p> <p>【賛成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「木づかい運動」がより盛んになる。 ・間伐材の使用量が増え、人工林が守られる。 ・林業で働く人の数が増える。 ・輸入すると国産の木を使わなくなる。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>【反対】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く人が少なく、高齢化していて、森林を守ることができない。 ・輸入量が7割で現実的に無理。 ・価格が安いので、木をつかった製品がつくりやすい。 ・木が育つには年数がかかり、天然林を伐採してしまうおそれがある。 <p>3 森林保全について参考になった友達の意見や自分の考えの変容について話し合う。</p> <p>4 本時のまとめをし、未来の森林と自分たちの生活の様子について自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材の輸出入をバランスよくしていく。 ・なるべく国産の木を使った製品を選ぶ。 ・林業は環境を守るために大切な仕事である。 ・森林を守るために緑の募金をしたい。 	<p>○子どもの考えを比較・関連させるために、一人一人の考えを把握しておき、交流の仕組み方を考えておく。</p> <p>○子どもの考えが深まっていくように、視点毎に始めに発表する児童を決めておき、それぞれの主張点を発表させ、意見を付け加えていくようにする。</p> <p>○本時のまとめが子どもたちの発表からできるように、発表内容をまとめた短冊を準備させておき、それを黒板に貼っていく。</p> <p>☆質問や意見をまとめる際に必要な資料を手にとれるように用意しておく。</p> <p>○考察するために参考になった友達の意見を明確にできるようなノートの記録の仕方等の支援をする。</p> <p>○自分の考えをもつことができるように、まとめ方や板書の仕方を工夫する。</p> <p>◎未来の森林と自分たちの生活の様子について考えている。【思考・判断・表現】 (発表・ノート)</p>

(3) 本時の評価

十分満足とされる児童の姿	おおむね満足とされる児童の姿	支援を要すると判断される児童への具体的支援
話し合い活動で気づいたことをもとに、森林保全について関心を持ち、自分ができることも交えて、考えを発表したり、ノートに記述したりしている。	話し合い活動で気づいたことをもとに、森林保全について自分の考えを発表したり、ノートに記述したりしている。	印象に残った友達の考えを聞くことで環境保全についての自分の考えを焦点化させ、ノートに考えを記述できるようにする。

8 研究の視点

- ・適切な資料選びをし、相手にわかりやすく説明するための資料を活用した話し合い活動は、森林保全に対する自分の考えを深めるために有効であったか。